科学研究費助成事業（基盤研究（Ｓ））研究進捗評価

課題番号	15H05711	研究期間	平成２７年度～平成３１年度
研究課題名	離散構造処理系の基盤アルゴリズムの研究	研究代表者 （所属・職） （平成 30 年 3 月現在）	湊　真一 （北海道大学・大学院情報科学研究科・教授）

【平成３０年度　研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A－	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

本研究は、離散構造処理系のコアとなる部分に研究者が集まる「場」を継続的に提供し、競争力の源泉となるアイデアを醸成し続けることを目的としている。

これまで２箇所の研究拠点を中心に、ネットワーク上の影響拡散にゼロサプレス型二分決定グラフ（ZDD）を用いる手法など、多くの成果を国際会議や論文として公表した。特に離散構造処理系による組合せ探索法や列挙索引化法に関する研究では新聞記事などによるアウトリーチ活動も行っていることは評価できる。

研究代表者の所属の変更により研究体制や計画の見直しが必要になることが考えられるが、効果的な拠点運用の方法を再考し、離散構造処理系の基盤アルゴリズム技術の確立とソフトウェアの整備を中心とした更なる研究推進を期待する。